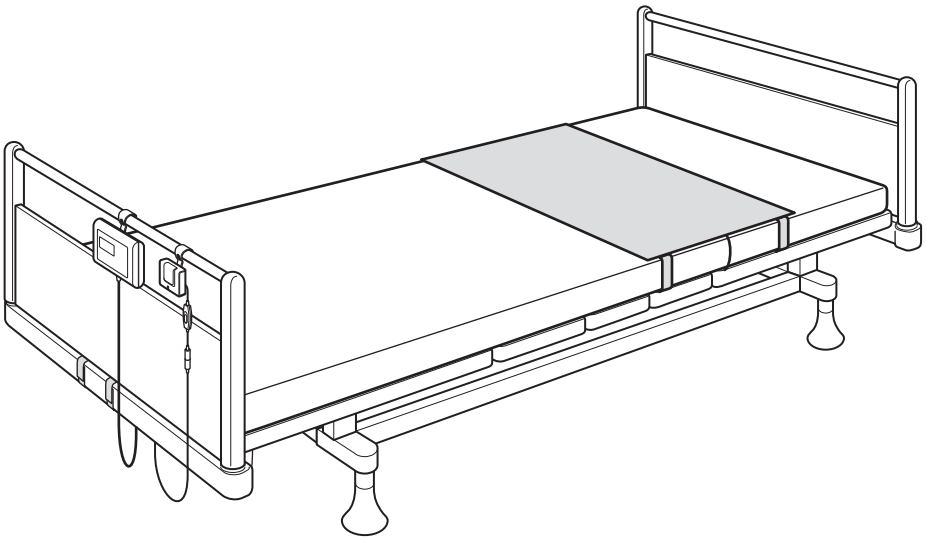
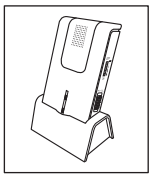
FranceBed

FB離床センサー RS-13

取扱説明書

保管用
保証書添付





- このたびは、本製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
- 安全のため、ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みになったあとは、いつでも取り出せるように、大切に保管してください。

【 はじめに 】

本製品は認知症老人がベッドから離床したときに、無線方式により受信チャイムの音でお知らせする製品です。
使用する介護ベッド及びマットレスは弊社指定のものをご使用ください。

【 目　次 】

安全のために必ずお守りください ････ 1
各部のなまえ ･････････････････････ 4
ご使用前の準備 ･･････････････････ 6
使用方法 ･････････････････････････ 15
保管とお手入れの方法 ･････････････ 16
ご参考 ･･････････････････････････ 17
こんなときには ･･････････････････ 18
定格・仕様 ･･････････････････････ 19
アフターサービス ････････････････ 20
お客様相談室 ････････････････････ 裏表紙
保証書 ･･････････････････････････ 裏表紙

安全のために必ずお守りください

この取扱説明書および製品の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するために、下記の区分や図記号で表示しています。
その指示と内容は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

区　分	⚠ 警告	**この表示を無視して誤った取り扱いをすると、『人が死亡または重傷を負う可能性』が想定される内容です。**
	⚠ 注意	**この表示を無視して誤った取り扱いをすると、『人が傷害を負う可能性』および『物的損害のみの発生』が想定される内容です。**
図記号の例		**⃠ 記号は、『禁止の行為であること』を示しています。** （左図の場合は分解禁止）
		● 記号は、『行為の強制や指示する内容』を示しています。 （左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）

⚠ 警告

操作ができない人、幼児、子供への使用はさせない。また、ベッドの上で遊ばせない。 けがや事故の原因になります。	 禁　止
交流１００V、５０／６０Hz 以外の電源では使用しない。 電源は家庭用１００Ｖコンセントを使用する。火災や感電の原因になります。	
コード類や AC アダプタ、電源プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みが緩いときは使用しない。 感電やショート、発火の原因になります。	
本体コードなどのコード類を傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、指定された方法以外で束ねたり、熱器具に近づけて使用したりしない。また、重いものを載せたり、挟み込んだりしない。 火災や感電の原因になります。	
ぬれた手で AC アダプタ、電源プラグを抜き差ししたり、コントローラー、小電力送信機、受信チャイムを操作したりしない。 感電や故障の原因になります。	 ぬれ手禁止
分解や修理、改造はしない。 火災や感電、けがの原因になります。修理を『お買い上げの販売店』または弊社『お客様相談室』にご依頼ください。	 分解禁止

⚠ 注意

使用前に正常に作動することを確認する。また、しばらく使用していなかったあとに使用するときは、正常かつ安全に作動することを確認する。 思わぬ事故の恐れがあります。	 使用前確認
弊社指定の介護ベッドで使用する。 思わぬ事故の恐れや故障、破損の原因になります。	 注　意

⚠ 注意

本製品の機器機能を長時間使用しない場合は、AC アダプタ、電源プラグを外し、小電力送信機の乾電池を外す。
乾電池を入れたまま放置すると液漏れを起こす場合があります。

本製品は屋内で使用する。
屋外で使用すると故障の原因になります。

外部機器と本製品をケーブルで接続している際に移動するときは、ケーブルを外す。
ケーブルに足を引っかけて転倒したり、破損の原因になります。

ケーブルを機器から抜くときは、ケーブルを引っ張らず、必ずプラグを持って抜く。
ケーブル断線や故障の原因になります。

注　意

AC アダプタ、電源プラグは確実に最後まで差し込む。
感電やショート、発火の原因になります。

AC アダプタ、電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ずアダプタやプラグ部分を持って抜く。
感電やショート、発火の原因になります。

アダプタ、プラグ
取扱注意

使用していないときは、AC アダプタ、電源プラグをコンセントから抜く。
思わぬ事故や絶縁劣化による感電、漏電火災の原因になります。

故障が発見された場合や、異常のある場合には直ちに使用を中止し、事故防止のためすぐに AC アダプタ、電源プラグを抜く。
感電や漏電、ショートなどによる火災の恐れがあります。
修理を『お買い上げの販売店』または弊社『お客様相談室』にご依頼ください。

お手入れの際は、必ず AC アダプタ、電源プラグをコンセントから抜く。
感電や思わぬ動きをしてけがをする恐れがあります。

アダプタ、プラグ
を抜く

下記に示す睡眠障害や神経系の疾病を判定する用途には使用しない。

- **むずむず脚症候群（レストレスレッグス症候群）**
- **周期性四肢運動障害（PLMD）**

けがや事故の原因になります。

乾電池は誤った使い方をしない。

- **（+）と（-）を逆に入れない。**
- **乾電池は充電しない。**
- **分解や過熱したり、水の中に入れたりしない。**
- **ネックレスなどの金属物と一緒にしない。**
- **被覆のはがれた乾電池は使わない。**
- **長期間使用しないときは本機に入れたままにしない。**

事故や故障の原因になります。

禁　止

⚠ 注意

指定以外の乾電池を使用しない。 事故や故障の原因になります。	 禁　止
乾電池を火中に投入しない。 乾電池が破裂し、けがや事故の原因になります。	
センサーマットは強く折り曲げたり、折りたたんだ状態で使用しない。 折り曲げるとセンサー部分が破損し、修理不可能になります。	
センサーマットを針やピン、刃物などで刺したり傷をつけたりしない。 過熱や故障、破損の原因になります。	
コントローラー･中継器、小電力送信機、受信チャイムを落としたり、上に乗ったり、乱暴に扱わない。 故障や破損の原因になります。	
プラグ類にピンやゴミ、水分などを付着させない。 感電やショート、発火の原因になります。	
浴室など湿度の高い場所では使用しない。 感電や故障の原因になります。	 浴室など水場 での使用禁止
センサーマット、コントローラー・中継器、小電力送信機、受信チャイムを水などでぬらさない。 感電や故障の原因になります。	 水ぬれ禁止

重要なお知らせ

本製品は徘徊感知器（離床を知らせるためのもの）として使用するものであり、転倒・転落を直接的に防止するものではありません。また生命救済を目的にした機器ではありません。万一発生した人身事故、災害事故等による損害については、弊社は一切責任を負いません。

本製品の小電力送信機は 10mW 以下の出力の送信機です。微小な電力の無線送信機ですが心臓ペースメーカーや特殊な医療機器に密着させると悪影響を及ぼすこともありますので、安全管理のため機器からは 50cm 以上離してご使用ください。

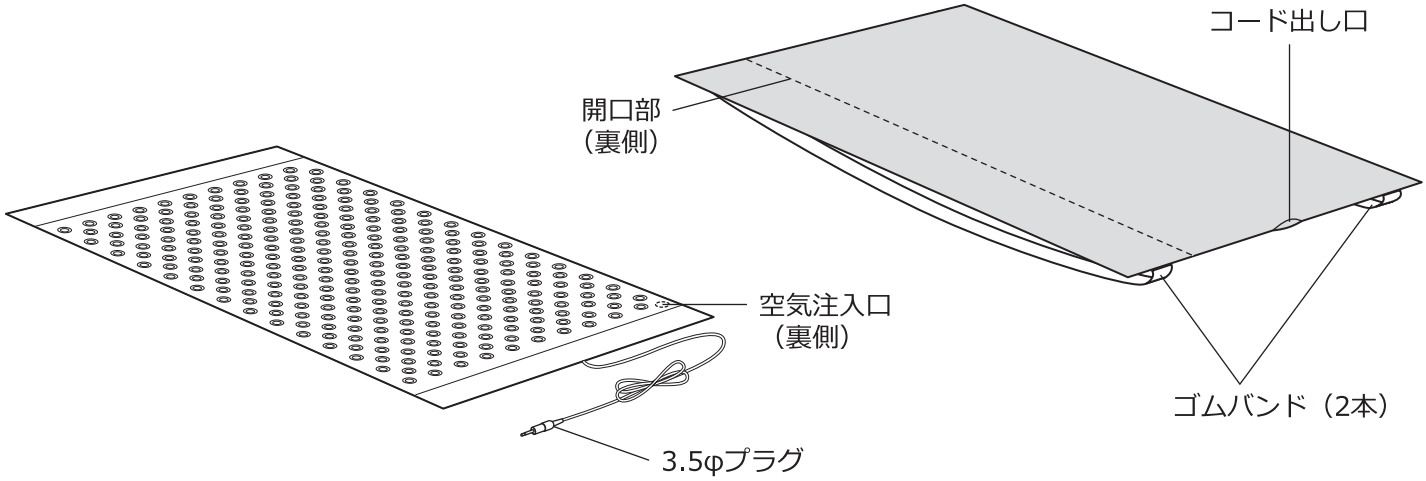
本製品の小電力送信機は総務省の技術基準に適合した小電力セキュリティ認証品です（㊙ 証明マーク本体貼付）。総務省の許可なしに改造して使用すると法律により罰せられます。

各部のなまえ

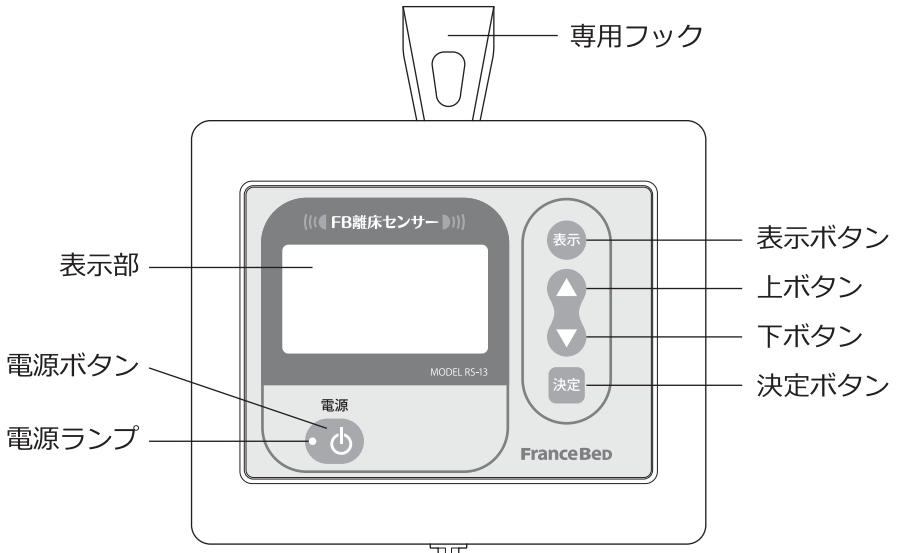
センサーマット

専用カバー（センサーマット用）

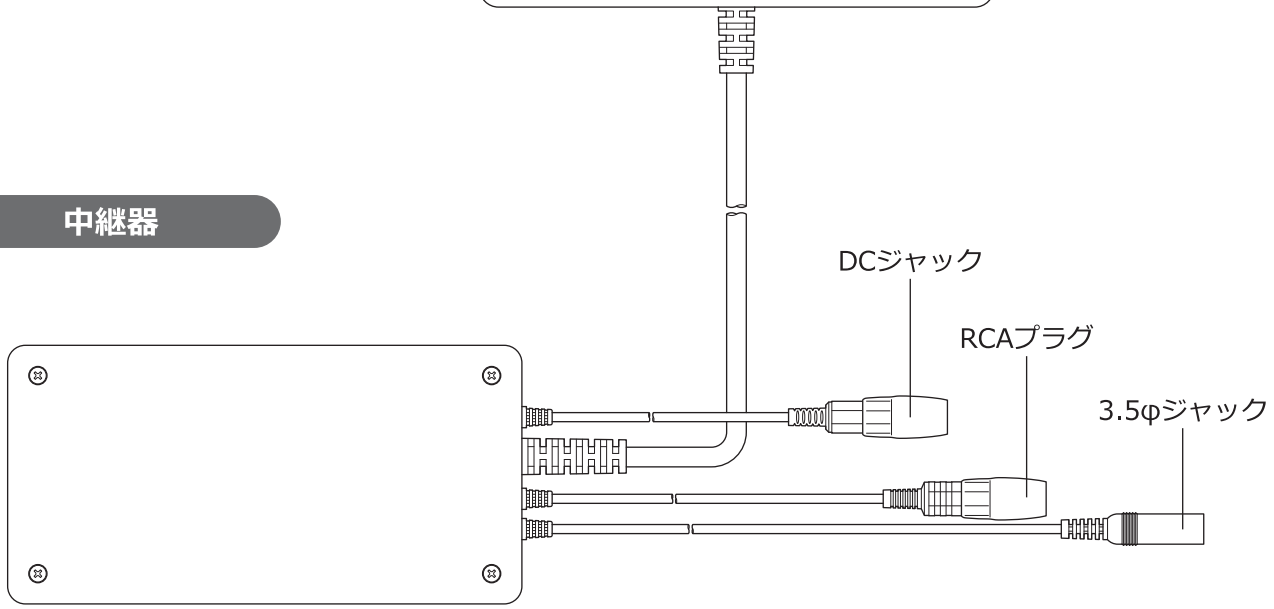
※ センサーマットは専用カバーに入れてあります。



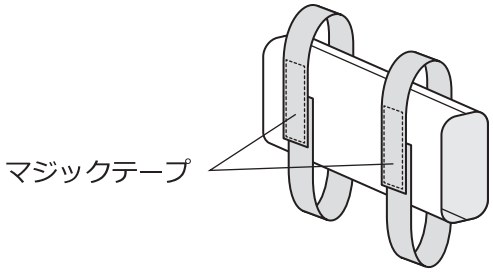
コントローラー



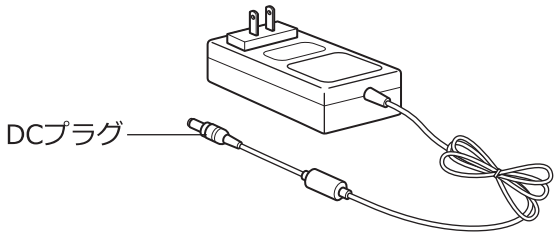
中継器



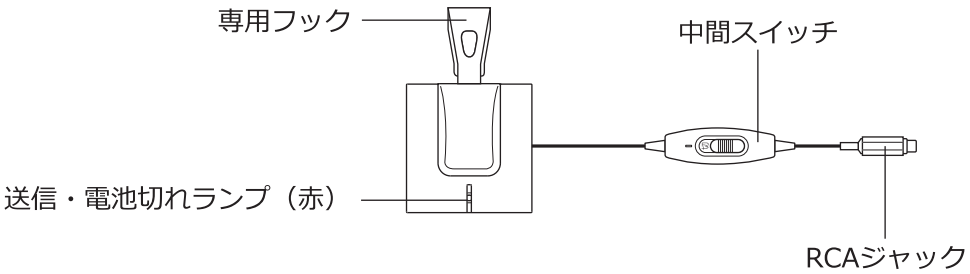
取り付けカバー（中継器用）



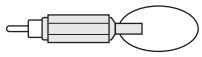
ACアダプタ



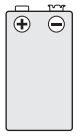
小電力送信機



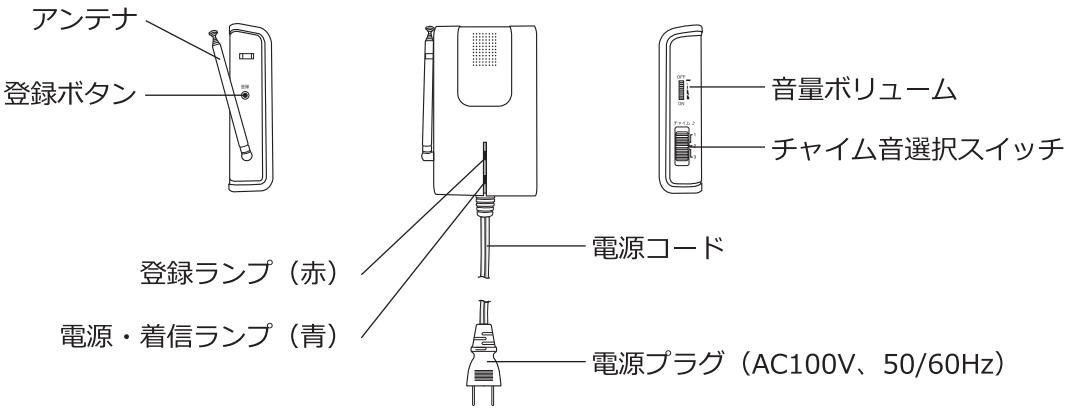
ダミープラグ

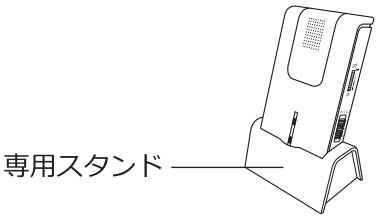


お試し用電池（１個）



受信チャイム





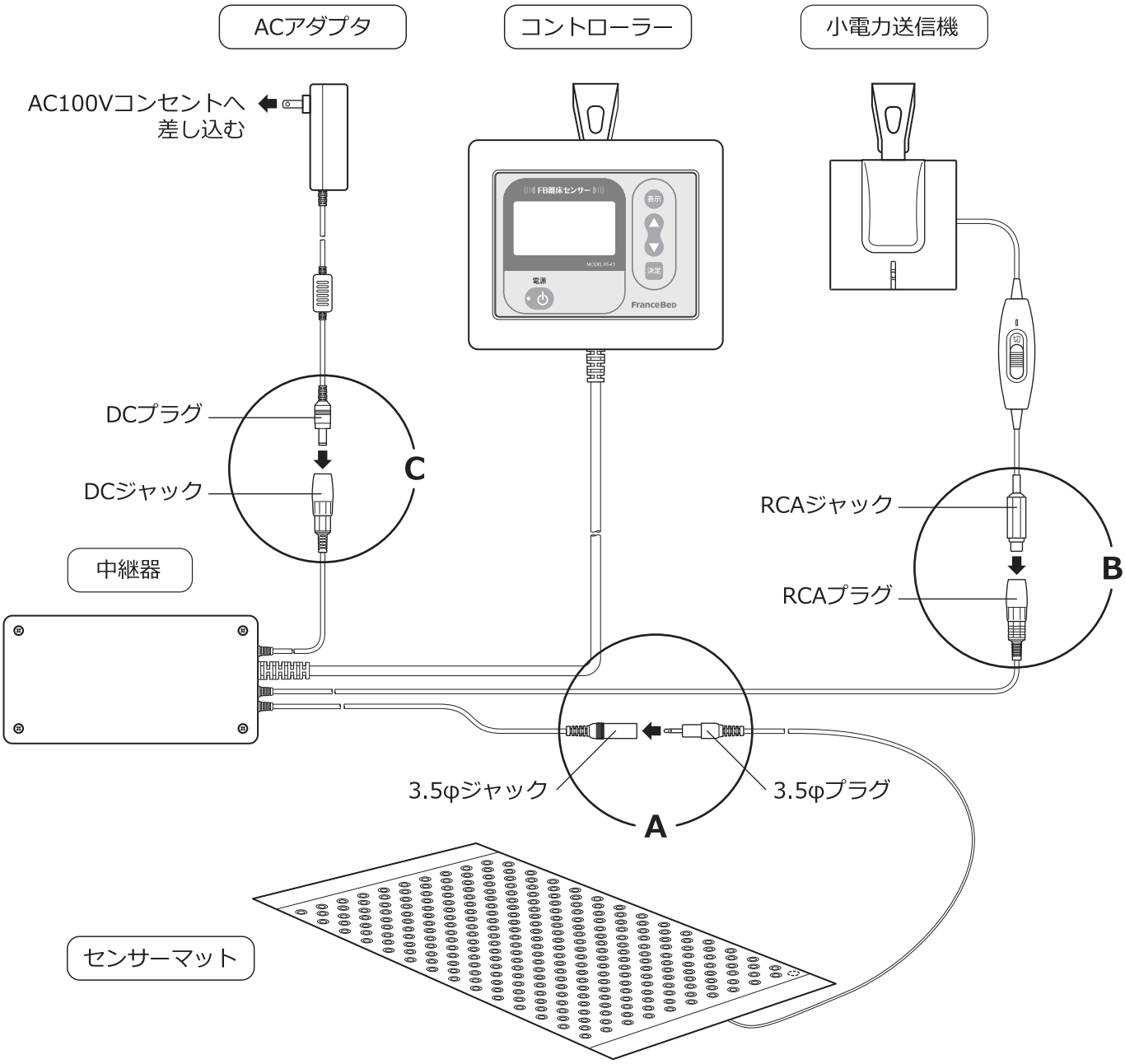
ご使用前の準備

ご使用前の準備として次の順番で準備を行ってください。

1．各機器の接続確認

各機器の接続は下図のようになっています。
下図を参考に設置を行ってください。

A部・・・中継器の **3.5φジャック** ← センサーマットの **3.5φプラグ**
B部・・・中継器の **RCA プラグ** ← 小電力送信機　の **RCA ジャック**
C部・・・中継器の **DC ジャック** ← AC アダプタ　の **DC プラグ**

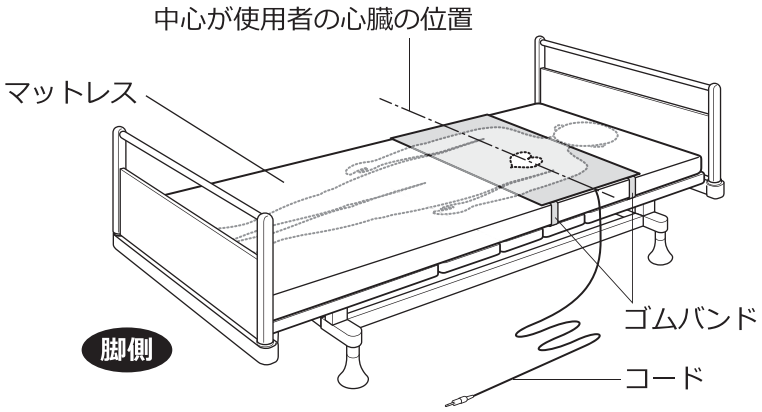


2. センサーマットの設置

① カバーに入ったセンサーマットをコードが使用者の左側になるように、ご使用のマットレスにゴムバンドで固定します。

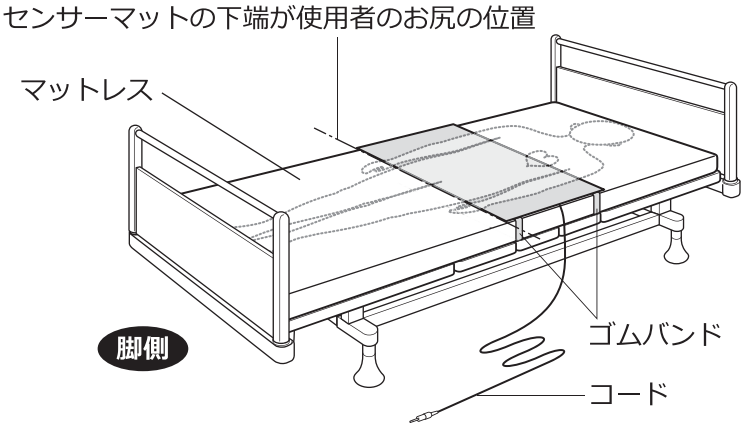
背中を起こしたときに検出したい場合

センサーマットの中心が使用者の心臓の辺りになるように位置を調整します。

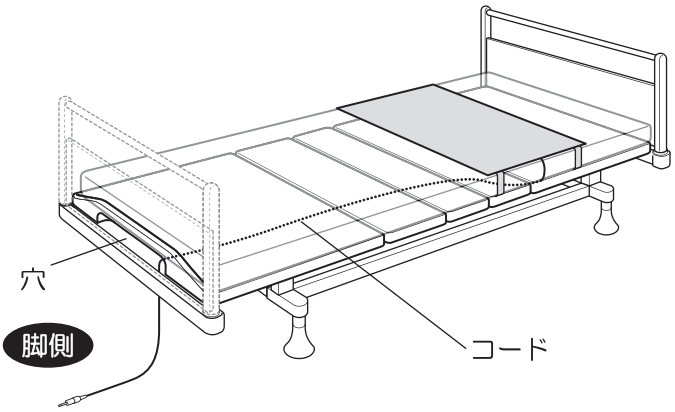


ベッドから離れたときに検出したい場合

センサーマットの下端がお尻の辺りになるように位置を調整します。



② コードを床板とマットレスの間をはわせて床板の脚側の穴から下に通します。

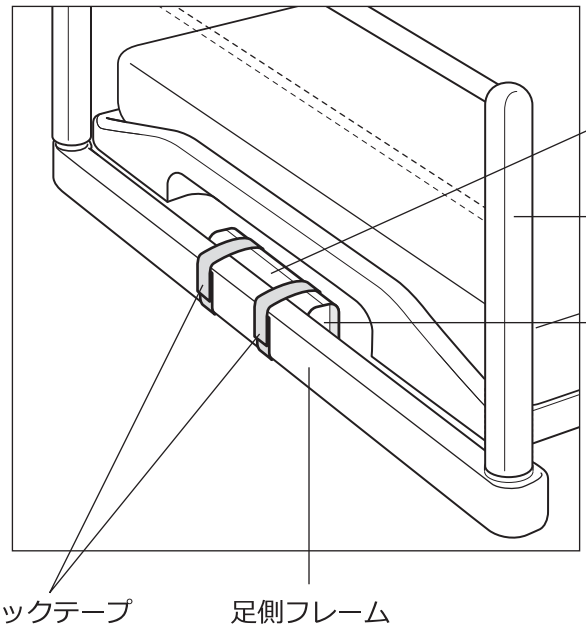


3. 中継器の取付け

① 中継器を取り付けカバーに入れた状態で足側のフレームの内側にマジックテープで固定します。

可動部分（脚上げ、ハイロー動作など）がある場合は、動作させて中継器が可動部分に接しないことを確認してください。

② 中継器の 3.5φジャックとセンサーマットの 3.5φプラグを接続します。【P.6、A 部 参照】

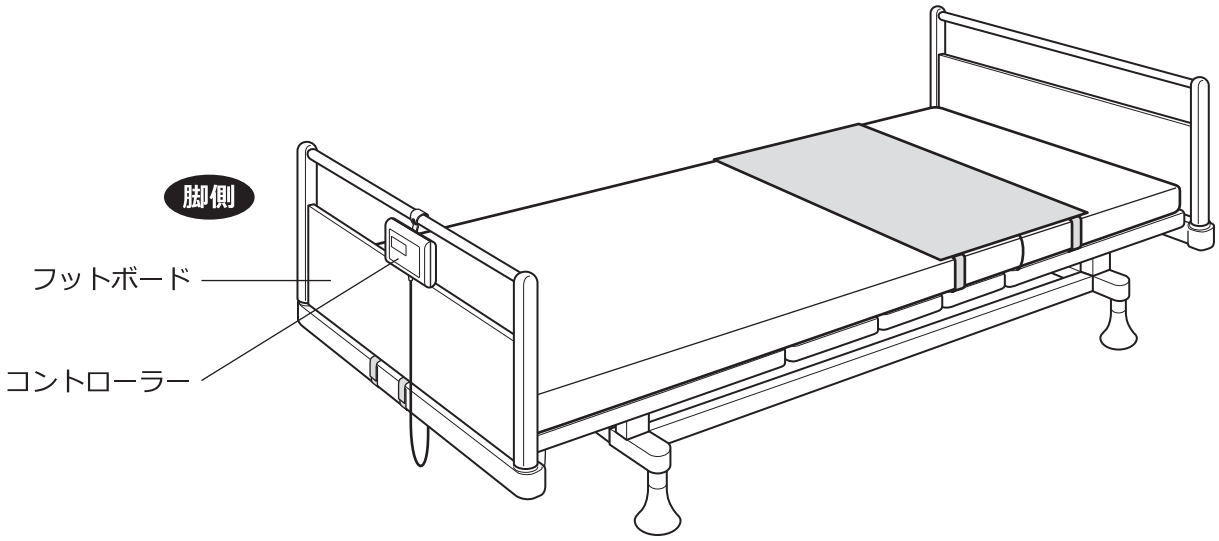


ベッドの型式により、
図の位置に取り付けできない場合

中継器が可動部分に接しない場所に、コードの余裕を持たせてマジックテープで固定してください。

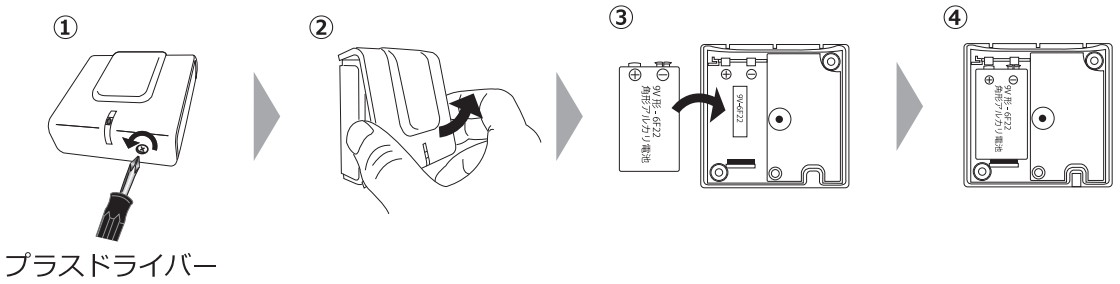
4. コントローラーの取付け

① フックを利用してコントローラーをフットボードに引っ掛けます。



5. 小電力送信機の電池の装着

● 下記の手順で電池を入れてください。



※ 付属の電池はお試し用ですので、所定の使用可能時間が得られない場合があります。

① 新品の９Ｖ角型アルカリ電池を用意し、本体下部のネジをプラスドライバーで外します。

② 本体下部の両端をつかみ、手前に引いてから上に引き上げてカバーを開けます。

③ ９Ｖ角型アルカリ電池を図のように入れます。
※ プラス極が向かって左側にくるように入れます。入れ間違えのないようご注意ください。

④ カバーを被せます（開けたときの逆で、上部を引っかけながら下部を押し込みます）。
上下ケースの間に隙間がないことを確認し、外した本体下部のネジをプラスドライバーで取り付けます。

お知らせ

※ 電池の寿命は１日 10 回の送信で約１年です。電池切れが近くなるとランプが点滅してお知らせします。
ランプが点滅したときは電池を交換してください。

※ ランプの点滅中は離床したとき受信チャイムは鳴りません。

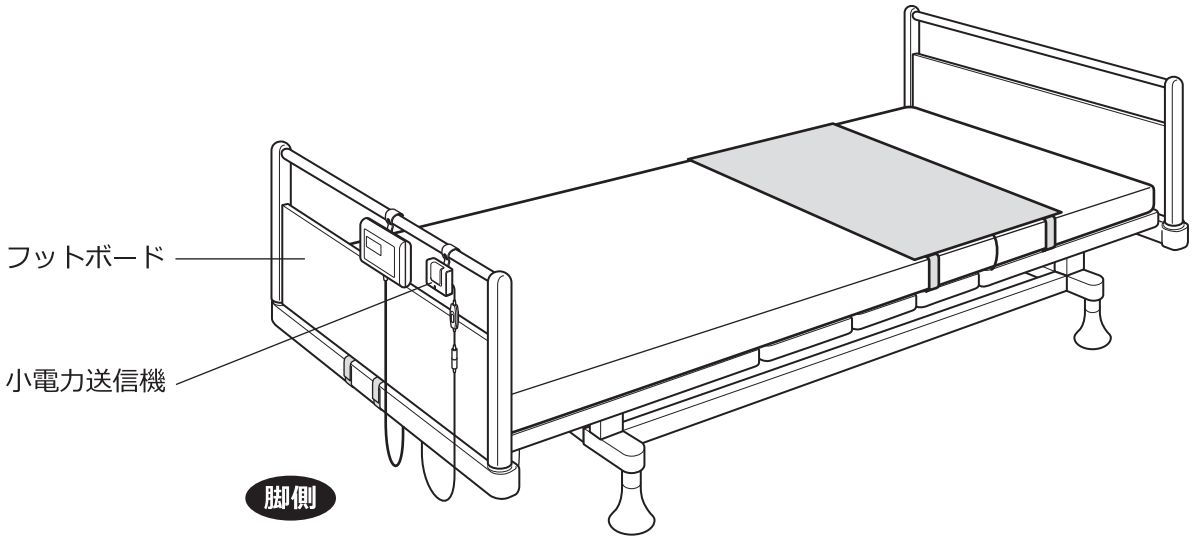
※ 電池が入っていない場合や、完全に電池が切れている場合は表示されません。また、電池切れをお知らせするランプの点滅は約１週間です。それを過ぎますと、ランプは消えて使用できなくなりますので、早めに新品の電池と交換してください。

※ 電池を交換をした際には、離床センサーを接続して必ず動作確認をしてください。

6. 小電力送信機の取付け

① フックを利用してフットボードに引っ掛けます。

② 小電力送信機の RCA ジャックと中継器の RCA プラグを接続します。（P.6、B 部 参照）



ご注意

※ 小電力送信機の取り付け場所によっては、電波の到達距離が短くなりますので、できるだけ金属物を避けて床面からなるべく高い位置に取り付けてください。

※ その他下記のような使用場所（環境）では、電波の到達距離が短くなったり動作しない場合がありますのでご注意ください。

・小電力送信機と受信チャイムの間に金属や鉄筋コンクリートなどの壁面があったり、周辺が金属で囲まれている。
・壁の断熱材にアルミ箔を貼り付けたグラスウールを使用している。
・金属の壁面や台の上に設置している。
・人の身体で電波を遮っている。
・パソコンや電子レンジなどの電波を発する機器が 2 m 以内にある。
・近くでコードレス電話や携帯電話を使用している。
・近くでマイクロ波治療器を使用している。
・近くにテレビやラジオの放送局、各種業務無線局、携帯電話基地局、アマチュア無線局がある。

7. 中継器への配線確認

次のコードが確実に中継器につながれていることを確認します。

① センサーマット
センサーマットの 3.5φプラグコードは床板とマットレスの間をはわせ、床板の脚側の穴から下に出し、中継器の 3.5φジャックに確実に接続されていること。（P.6、A 部 参照）
背部分が傾斜するため、コードに余裕を持たせてあること。

② 小電力送信機
小電力送信機の RCA ジャックと中継器の RCA プラグが確実に接続されていること。（P.6、B 部 参照）

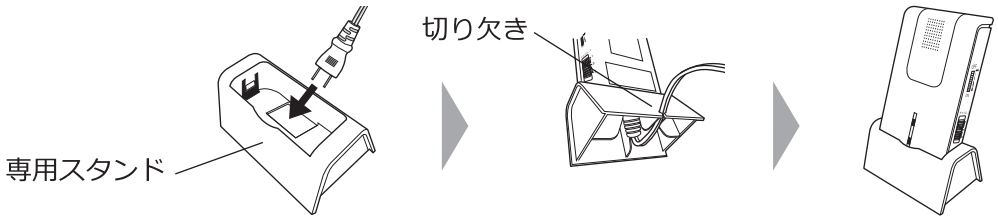
③ AC アダプタ
AC アダプタの DC プラグと中継器の DC ジャックが確実に接続されていること。（P.6、C 部 参照）

・余ったコード類は、ビニタイ等で中継器近くでしばってください。
・配線がつながれていることを確認した後、AC アダプタを AC100V コンセントに差し込んでください。

8. 受信チャイムの設置

● 付属の専用スタンドを使って受信チャイムをチャイムを鳴らしたい場所に設置してください。
受信チャイムと専用スタンドの設置方法は下記の通りです。

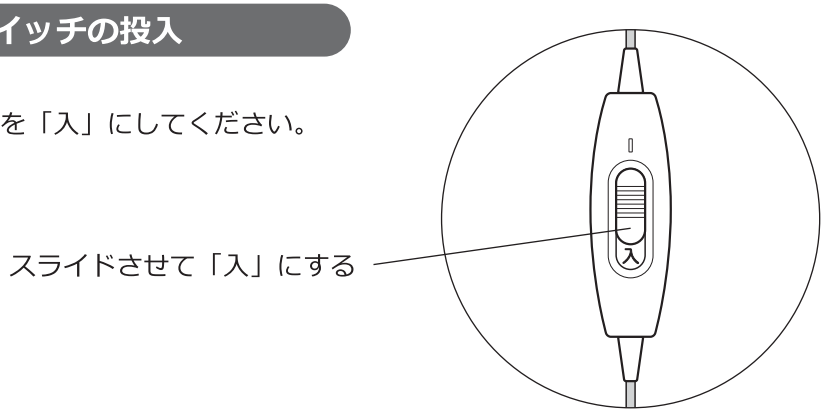
① 電源プラグを専用スタンドの四角い穴に通し、受信チャイムを差し込みます。
電源コードは図のように専用スタンドの切り欠き部から出してください。
※ 専用スタンドはスチール製家具の上で使用しないでください。



② 受信チャイムの電源プラグをAC100Vコンセントに差し込んでください。

9. 小電力送信機の中間スイッチの投入

● 小電力送信機の中間スイッチを「入」にしてください。



10. チャイム音の設定

● 小電力送信機から信号が出ないと受信チャイムは鳴りません。
ダミープラグを小電力送信機のRCAジャックに差し込むと数秒間信号を送信します。

① 受信チャイムのチャイム選択スイッチを切り替えて3種類の中からお好みの音を選んでください。
1：チャイム（♪ピンポン、ピンポン、・・・約４秒間）
2：ウエストミンスターチャイム（♪ピンポンパンポン、ピンポンパンポン、・・・約８秒間）
3：エリーゼのために（約８秒間）

② ボリュームを回して音量を調節してください。
上に回す･･･音量が小さくなります。（最小：音が消えます）
下に回す･･･音量が大きくなります。（最大：75dB/m）

11. コントローラーの設定

● コントローラーは下記項目が設定できます。 出荷時の設定は初期設定です。

設定項目	設定範囲	初期設定	備考
離床感度	低 ／ 標準 ／ 高	標準	※ 1
離床判定時間	3～59 秒 、 1～30 分	5 秒	離床検出を早くする場合は短くします。
在床判定時間	6～60 秒	10 秒	短時間に離床を繰り返す場合は長めにします。
離床出力	有 ／ 無	有	離床時／在床時のチャイムを鳴らす設定です。
在床出力	有 ／ 無	無	
日時設定	西暦／月／日、時：分	工場出荷時設定	コントローラーの日時設定ができます。

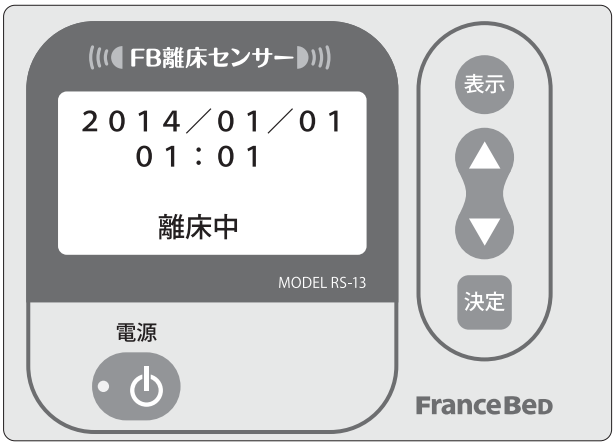
※ 1

◆ “標準” 設定で在床であるのに離床判定となる場合・・・・ 使用者の体動が弱いことが原因と思われます。
“低” 設定をお勧めします。

◆ “標準” 設定で離床中であるのに在床判定となる場合・・・ 使用環境における振動やノイズが原因と思われます。
“高” 設定をお勧めします。

設定方法

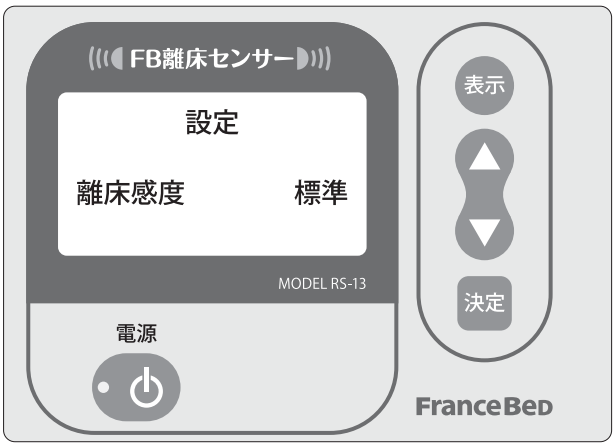
※ 画面は全て表示例です。



● 初期画面

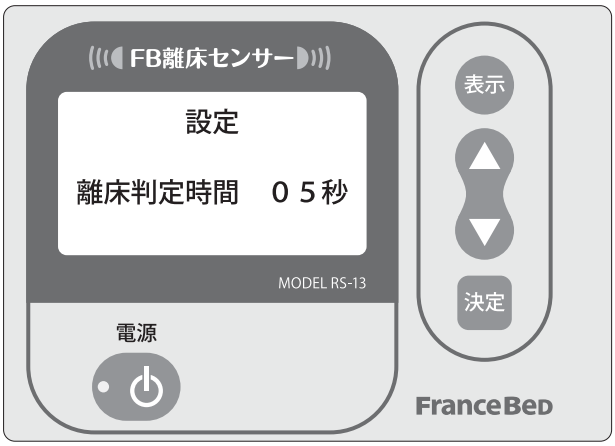
【 電源 】ボタンを1秒以上押すと左記の初期画面が表示されます。【 表示 】ボタンを押すと①の設定画面に移り、【 決定 】ボタンを押す度に次の設定画面に移ります。

※ 左記画面表示は、「2014年1月1日、1時1分、離床中」を表しています。



① 離床感度　（初期設定：標準）

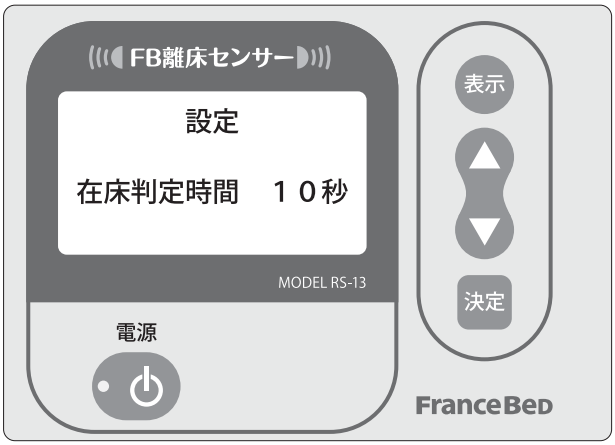
【 △ ／ ▽ 】ボタンを押して【 低 ／ 標準 ／ 高 】のいずれかを選択し、【 決定 】ボタンを押します。



② 離床判定時間　（初期設定：５秒）

【 △ ／ ▽ 】ボタンを押して希望の時間を選択し、【 決定 】ボタンを押します。

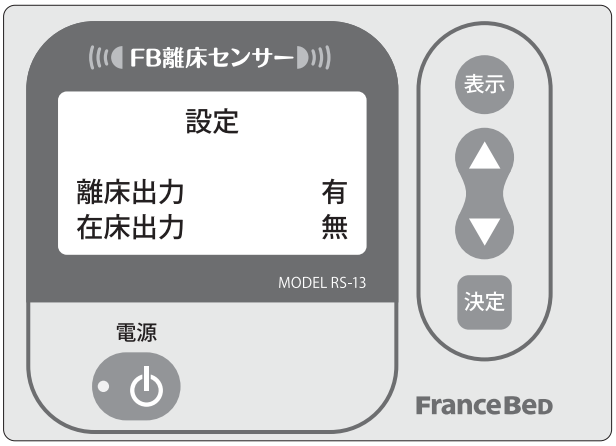
【 △ 】ボタンは時間が増えます。
【 ▽ 】ボタンは時間が減ります。



③ 在床判定時間　（初期設定：１０秒）

【 △ ／ ▽ 】ボタンを押して希望の時間を選択し、【 決定 】ボタンを押します。

【 △ 】ボタンは時間が増えます。
【 ▽ 】ボタンは時間が減ります。



④ 離床出力　（初期設定：有 = チャイムが鳴る）
在床出力　（初期設定：無）

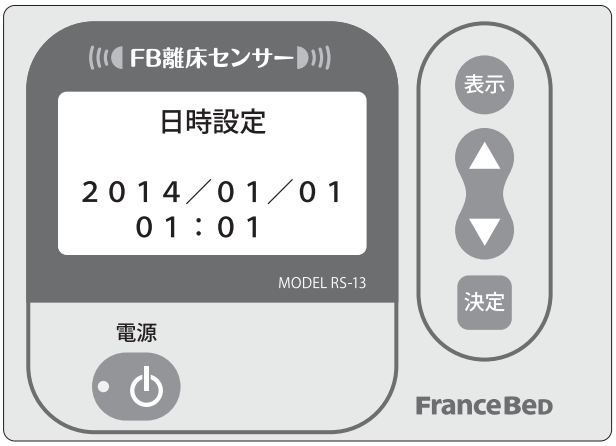
◆ **離床出力**
【 △ ／ ▽ 】ボタンを押して【 有 ／ 無 】のいずれかを選択し、【 決定 】ボタンを押します。

◆ **在床出力**
【 △ ／ ▽ 】ボタンを押して【 有 ／ 無 】のいずれかを選択し、【 決定 】ボタンを押します。

離床感度設定画面に移動します。

続けて日時設定を行う場合･･･
【 表示 】ボタンを押します。日時設定画面に移動します。

設定を終える場合･･･
【 表示 】ボタンを２回押して、初期画面に戻します。



⑤ 日時設定　（初期設定：出荷時設定）

◆ “西暦”の下２桁が点滅します。【 △ ／ ▽ 】ボタンを押して“西暦”を合せ、【 決定 】ボタンを押します。
【 △ 】ボタンは時間が増えます。
【 ▽ 】ボタンは時間が減ります。

◆ “月”が点滅します。【 △ ／ ▽ 】ボタンを押して“月”を合せ、【 決定 】ボタンを押します。

◆ “日”が点滅します。【 △ ／ ▽ 】ボタンを押して“日”を合せ、【 決定 】ボタンを押します。

◆ “時”が点滅します。【 △ ／ ▽ 】ボタンを押して“時”を合せ、【 決定 】ボタンを押します。24時間表示です。

◆ “分”が点滅します。【 △ ／ ▽ 】ボタンを押して“分”を合せ、【 決定 】ボタンを押します。

※ “分”まで合せて【 決定 】ボタンを押さない場合、日時設定は行われません。

初期画面から日時設定を行う場合･･･
【 表示 】ボタンを２回押し、日時設定画面に移動し、上記「⑤ 日時設定」の手順で設定します。

各設定画面から日時設定を行う場合･･･
設定画面のいずれかで【 表示 】ボタンを押し、日時設定画面に移動し、上記「⑤ 日時設定」の手順で設定します。

【 電源 】ボタンを押したとき、日時設定画面が表示される場合･･･
P.18「こんなときには」の「6」を参考にボタン電池の交換を依頼してください。

⑥【 表示 】ボタンを押して初期画面に戻します。

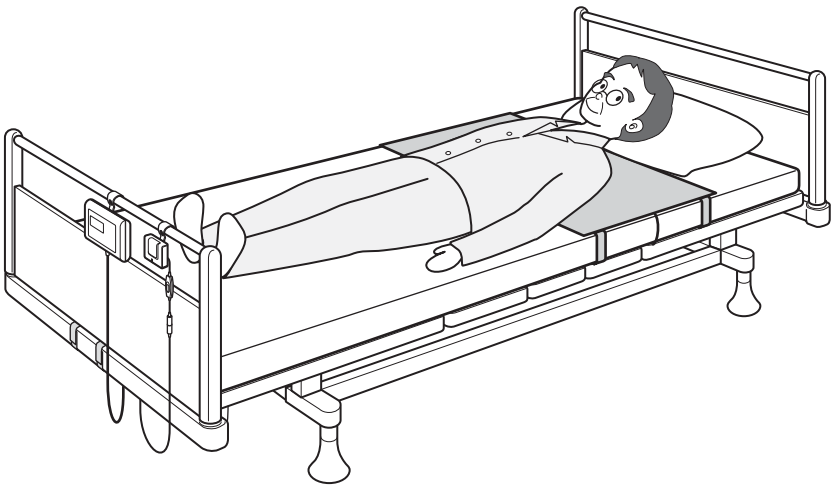
12. 動作確認

● P.6～14「ご使用前の準備　1～11 」に従って準備を完了した後、実際にマットレスをベッドに乗せて、マットレスの上に寝た状態で、離床した時に受信チャイムが鳴ることを確認してください。

① マットレスの上に寝た状態でコントローラーの電源ボタンを１秒以上押してください。
電源ランプが点灯し、初期画面が表示されます。『在床中』の表示になります。

② マットレスから降りてベッドから離床すると、離床判定時間で設定された時間後に『離床中』の表示になり、小電力送信機の送信ランプが点灯し、受信チャイムが鳴ります。

※ 使用者の体動（寝返り、呼吸動作など）をセンサーマットで検出しています。体動と同様の震動がセンサーマットに伝わりますと、在床と判断し、受信チャイムの鳴動が遅れる場合があります。



使用方法

① P.6 ～ 15「ご使用前の準備 1 ～ 12 」を行ってください。

② 設置したマットレスから離床するとコントローラーの表示部は初期画面に『離床中』が表示され受信チャイムからチャイム音が鳴り、青ランプが約５秒間点滅します。

③ 在床するとコントローラーの表示部は『離床中』から『在床中』の表示になります。

④ 使用しない場合は、コントローラーの【 電源 】ボタンを１秒以上押してください。電源ランプが消灯し、表示部が消えます。

※ 表示部は３分間ボタン操作をしないと、バックライトが消えます。

※ 使用中にセンサーマットの位置がずれる場合があります。週に一回程度、センサーマットの位置を確認し、指定位置に設置して、上記の「12. 動作確認」を行ってください。

※ センサーマットは厚さ約 15 ～ 20mm で使用してください。
空気量が少ない場合、センサーマットの空気注入口（P.4「各部のなまえ」参照）より空気を補充してください。

※ ご使用のマットレスとベッドの組み合わせにより、また背部分を傾けた状態や横向き寝でご使用の場合に、センサーマットの離床感度の調整が生じる場合があります。P.13「設定方法 ①離床感度」を参考に設定してください。

保管とお手入れの方法

必ず下記の注意に従って、正しく保管とお手入れをしてください。

⚠ 注意

上に重い物を載せた状態で保管しない。
故障や破損の原因になります。

次の場所では保管しない。
- **暖房器具などの近くで直接高温になる場所**
- **振動や衝撃の加わる場所**
- **直射日光の長時間当たる場所**
- **湿度の高い場所**

事故や故障、またはひび割れや変形、変色の原因になります。

禁　止

汚れを拭き取るのに、シンナー、ベンジン、アルコール、その他の溶剤や磨き粉などは絶対に使用しない。
変色や故障の原因になります。

本製品を廃棄する場合は地域の条例に基づいて廃棄処理する。

注　意

各部品のお手入れ方法

部品名称	お手入れ方法
センサーマット **小電力送信機** **受信チャイム**	**ふだんのお手入れ･･･** 柔らかい布などでふいてください。 **汚れがひどいとき･･･** 中性洗剤を水で薄めた液を布に含ませ、よく絞ってからふきとったあと、水を含ませよく絞った布で洗剤分を取るようによくふき、完全に乾くまで乾ぶき、または自然乾燥させてください。
コントローラー **中継器**	乾いた布で汚れを拭き取ってください。 故障の原因になるので絶対にぬれた布ではふかないでください。
専用カバー **（センサーマット用）** **取り付けカバー** **（中継器用）**	品質表示ラベルに従ってお手入れしてください。

ご参考

本製品をご購入時には認識登録をしておりますので、登録作業をする必要はありませんが、
万一故障などで再度認識させる必要がある場合には以下の方法で行ってください。

小電力送信機と受信チャイムの認識登録の方法

本製品は無線のシステムを採用しており、混信などを防止するために使用する小電力送信機と受信チャイム同士を認識させています。認識させるためには登録を行う必要があります。

● 登録手順

※ 小電力送信機と受信チャイムの距離は 0.5 ～ 5m の範囲で登録作業を行ってください。

① 受信チャイムの登録ボタンを 2 秒以上押してください。登録ランプ（赤）がゆっくり点滅します。

② 60 秒以内に小電力送信機の RCA ジャックにダミープラグを差し込み、中間スイッチを「入」にしてください。受信チャイムの登録ランプ（赤）が点灯に変わります。

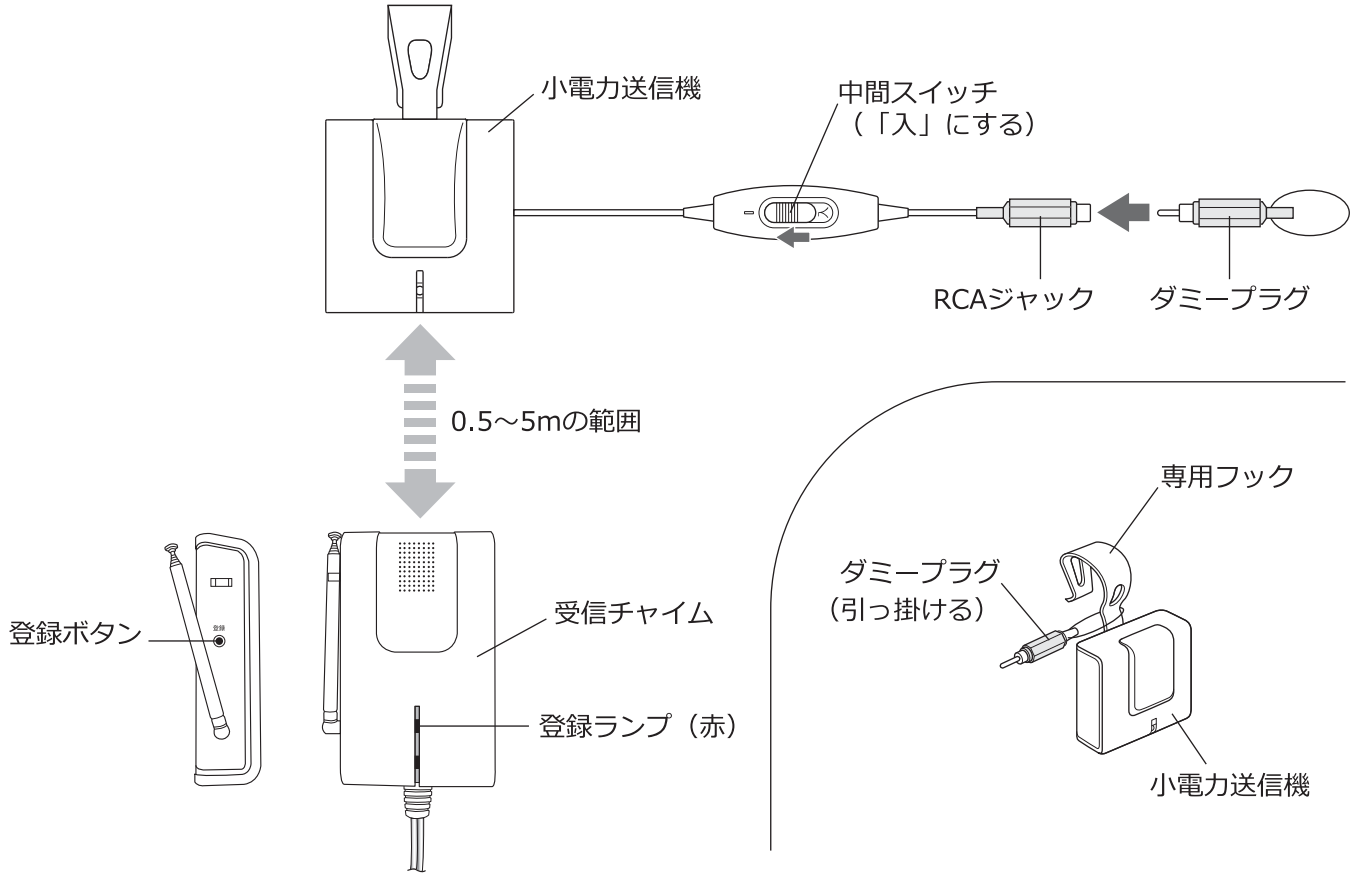
※ 登録ランプ（赤）が点灯しない、もしくは早い点滅になった場合は登録失敗です。再度登録手順①から行ってください。

③ 登録ボタンを 1 回押してください。登録ランプ（赤）が消灯します。

以上で登録完了です。

※ 登録が完了したら実際にベッドにマットレスをのせて、マットレス上に寝た状態で離床したときに受信チャイムが鳴ることを確認してください。

※ ダミープラグは紛失防止のため、小電力送信機のフックに掛けて保管してください。



こんなときには

※ 次のような症状が起きた場合は、下記の内容をご確認のうえ、なお異常がある場合には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、『お買い上げの販売店』または弊社『お客様相談室』までご連絡ください。

症　状	ご確認ください
1.チャイム音が鳴らない。	・受信チャイムの電源ランプが点灯しているか確認してください。 → 電源プラグを一度抜いて、コンセントに差し込んでください。 ・小電力送信機のRCAプラグにダミープラグを差し込んだとき、小電力送信機のランプが点灯しているか確認してください。 → 新品の電池を正しく入れてください。 ・センサーマット、コントローラー、中継器、信号コードと小電力送信機が正しく接続されているか確認してください。 → 正しく接続してください。 ・小電力送信機の中間スイッチが「入」になっているか確認してください。 → スイッチを「入」にしてください。 ・受信チャイムのボリュームが小さく設定されていないか確認してください。 → ボリュームを大きくしてください。
2.本体コードやACアダプタ、電源プラグが異常に熱くなる。 3.センサーマットの表地が破れるなどの損傷をしている。 4.本体コードやACアダプタ、電源プラグにひび割れや傷がある。 5.破損してしまった。	・直ちに使用を中止してください。
6.【 電源 】ボタンを押すと日時設定画面が表示される。	・コントローラーに内蔵されているボタン電池の寿命です。 → 交換を依頼してください。

長年ご使用のマッサージ器の点検を

末長くご使用いただくために、マッサージ器の定期点検をお奨めします。

愛情点検	こんな症状はありませんか？
	● AC アダプタ、電源プラグをコンセントに差し込んでも、動作しないときがある。 ● 本体コードや AC アダプタ、電源プラグにひび割れや傷がある。 ● 本体コードや AC アダプタ、電源プラグが異常に熱くなる。 ● コゲくさい臭いがしたり、動作中に異常な音や振動がする。 ● センサーマットの表地が破れるなどの損傷をしている。 ● その他の異常や故障がある。

故障や事故防止のため、直ちに使用を中止し、電源プラグを抜いて修理をご依頼ください。
また、このような症状がなくても、お買い上げ後５～６年ほどたちましたら安全のため点検をお奨めします。
修理・点検に要する費用につきましては、『お買い上げの販売店』または弊社『お客様相談室』にお問合わせください。

定格・仕様

センサーマット

本体 ／ 寸法 ： 幅 830　×　長さ 510　×　厚さ 20 ㎜（突起部除く）
ケーブル長さ 2000 ㎜、3.5φ モノラルプラグ
材質 ： 塩化ビニール　抗菌仕様

専用カバー ／ 寸法 ： 幅 830　×　長さ 515 ㎜
材質 ： ポリエステル 65 %　綿 35%

中継器

使用電源 ： DC 12 V　2 A
消費電力 ： 4 W　、　待機電力： 1 W
本体 ／ 寸法 ： 幅 170　×　長さ 85　×　厚さ 36 ㎜（突起部除く）

専用カバー ／ 寸法 ： 幅 185　×　長さ 85　×　厚さ 36 ㎜
材質 ： ポリエステル 65 %　綿 35%

小電力送信機

型式名 ： TSF-100
寸法 ： 幅 70　×　長さ 72.5　×　厚さ 27.5 ㎜ （突起部除く）
重量 ： 約 110 g （電池除く）
使用電源 ： 9V角型アルカリ乾電池
消費電流 ： 送信時 20 mA、待機時 1 μA
電波到達距離 ： 約 100 m （最大）

受信チャイム

型式名 ： RCF-100
寸法 ： 幅 64　×　高さ 115　×　厚さ 30 ㎜ （突起部除く）
重量 ： 約 280 g
使用電源 ： AC 100 V　50/60 Hz
消費電力 ： チャイム動作時 3 W 以下、待機時 1W 以下
受信周波数 ： 426.8375 MHz
チャイム音 ： 3種類

ＡＣアダプタ

寸法 ： 幅 46　×　高さ 85　×　厚さ 30 ㎜ （突起部除く）
入力 ： AC 100 V　50／60 Hz　50 VA　0.5 A
出力 ： DC 12 V　2.0 A
プラグ ： DC φ2.5 × 5.5

アフターサービス

保証書について

◎ 保証書はお買い上げ販売店で「お届け日、お買い上げ店名」を記入していただいてください。

◎ 保証書に記入ができない場合は、お届け日、お買い上げ販売店名のわかる書類（納品書や領収書など）と併せて大切に保管してください。

補修用性能部品の保有期間

◎ 弊社は本商品の補修用性能部品を、製造打ち切り後６年間保有しております。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。ただし、縫製部品は除きます。

修理を依頼されるときは

◎ 修理をご依頼される前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、再度ご点検のうえ、なお異常がある場合には『お買い上げの販売店』、または弊社『お客様相談室』までご連絡ください。

保証期間中は

◎ 保証書の規定に従って、修理をさせていただきます。

保証期間を過ぎてるときは

◎ 修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

◎ できるだけ詳しくお願いいたします。

①ご住所、ご氏名、電話番号
②型式名、お買い上げ販売店名、お届け日
③故障または異常の内容

修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

メモ

お客様相談室

修理、お取り扱い、お手入れなどのご相談は、まず、『お買い上げの販売店』へお申し付けください。

◎ 弊社は厳格な検査を経て納品いたしておりますが、万一不具合点がございましたら、『お買い上げの販売店』、または弊社『お客様相談室』にお問合わせください。

フリーダイヤル 0120－39－2824

受付時間：月～金曜日、9～12時、13～17時
（土、日、祝祭日、年末、年始、弊社指定の休日等は除く）

保　証　書

型　　式	**FB離床センサー RS-13**
保証期間	お買い上げ日　　年　　月　　日から1年間
お 客 様	ご住所 〒
	ご氏名　　様
	電話番号

販売店	

この製品は、厳重なる品質管理及び検査を経てお届けしたものです。
お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合には、本保証書記載内容によりお買い上げの販売店が受付け致します。
※ 修理は、お買い上げの販売店に必ず本保証書を提示の上、ご依頼下さい。
※ 本保証書は再発行致しませんので、大切に保管して下さい。

フランスベッド株式会社
〒196-0022 東京都昭島市中神町1148番地5
TEL 042(543)3111(代表)

◇◇◇ 保 証 規 定 ◇◇◇

1. 保証期間内に正常なる使用状態において万一故障した場合には、無償修理致します。
お買い上げ日及び販売店名は、納品書又は領収書等で確認させて頂きますので、保証書とともに紛失しないよう保管願います。

2. 次のような場合には、保証期間内でも有償修理になります。
（イ）使用上の誤まり、不当な修理や改造による故障及び損傷。
（ロ）お買い上げ後の転落、落下等による故障及び損傷。
（ハ）火災、地震、風水害、落雷やその他の天災地変、公害、ガス害、塩害等による故障及び損傷。
（ニ）電源を使用する製品においては、指定電源（日本国内仕様）AC100V 50/60Hz以外での使用や異常電圧による故障及び損傷。
（ホ）一般家庭用以外（例：業務用の長時間使用）に使用された場合の故障及び損傷。
（ヘ）本保証書のご提示がない場合。
（ト）本保証書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入が無く、納品書又は領収書等にて必要事項の確認ができなかった場合。
（チ）保証書の記載事項の字句を書き替えられた場合。
（リ）消耗部品の取替え及び点検等の費用。
（ヌ）離島や離島に準ずる遠隔地については、弊社規定に沿い訪問に要する実費を申し受けることがあります。

3. 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

4. 法的責任
この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問合わせ下さい。

5. 保証の対象
本体及び付属品。但し、消耗部品、縫製部品、別売部品は除く。

6. 免責
本製品の故障の放置又はその使用によって生じた、直接、間接の損害についての保証は、一切その責を負いませんので、予めご了承下さい。

修理の記録

950940-8110-1